



関東トラック協議会が神ト協 & 運輸局交渉 中央・東京・埼玉・群馬・神奈川13名結集

建交労関東トラック協議会は、全国トラック部会の全国的とりくみの一環として、この間に埼玉・千葉・群馬・栃木・東京・茨城のトラック協会への要請行動を進めてきました。7月18日は関東ブロック最後の行動として神奈川県トラック協会への要請行動と併せ関東運輸局交渉をおこないました。以下は、行動に参加した神奈川県南支部の金崎書記長からの報告です（写真の提供を含む）。

神奈川トラック協会への要請は13:00から行いました。冒頭、関東トラック事務局長が要請の趣旨説明をおこない、トラック協会からは「悪質事業者への指導は総合評価D、Eの事業所を順次巡回しているが実績を確認できるのは1年位先では」との回答がありました。組合側は「正直者がバカを見ないように」指導強化を求めました。行動には中央の鈴木書記次長（全国トラック部会事務局長）、関東トラック協議会の奥貫議長（埼玉）、桜井幹事（群馬）、東京都本部石塚副委員長、遠藤書記長、東京トラック部会上村事務局長、今成幹事、埼玉トラック部会細川副部長、埼玉県本部の鈴木書記長、白原専従、県南支部からは小島委員長、金崎書記長が参加しました。



関東運輸局交渉で発言する奥貫議長



神ト協に要請書を渡す小島支部委員長

関東運輸局交渉は15:00から行い、改善基準告示、荷主勧告制度の強化、トラックステーションの整備、高速道路料金問題Gマークステッカーの有効期限切れに関わる対応などを求めましたが回答は「本省に上申する」が大半でした。神奈川県南支部は小島委員長、金崎書記長に加えて佐藤執行委員が出席しました。

JR川崎駅前宣伝は団結強化・組織の活性化も目的！

神奈川県南支部は毎月JR川崎駅東口での宣伝行動を行っています。この行動は定置・定点の宣伝で建交労の知名度UP・組合員拡大を主要目的とすると同時に多くの組合員が参加することによる宣伝効果のUPや団結強化・組織の活性化なども目的としています。



県南支部金崎書記長の訴え

7月は30日（日）に実施予定です。可能な限り多くの分会・班の仲間の参加を呼びかけます。

2枚の写真は6月25日の宣伝行動のものです。行動には5名が参加しテッシュ付きビラ200枚配布しました。